

第9回

# 雲南の地域医療を 考えるシンポジウム

in 飯南

テーマ

雲南地域で暮らし続けるために、今から実践できること  
～地域の特性を生かした地域包括ケアシステムの在り方を考える～

地域医療を取り巻く状況は医師・看護師等の不足が続く中依然厳しい状況にあります。この様な中、今後保健・福祉分野との更なる連携強化や、地域住民と協働による病院づくりなど、地域が一体となった取り組みとして「地域包括ケアシステム」の推進が必要だと考えています。

「地域包括ケアシステム」とは、地域住民に対し、保健サービス（健康づくり）、医療サービス及び在宅ケア、リハビリテーション等の介護を含む福祉サービスを、関係者が連携、協力して、地域住民のニーズに応じて一体的、体系的に提供する仕組みです。今回のシンポジウムでは「地域包括ケアシステム」の根幹について学び、雲南圏域におけるそれぞれの自治体及び自治体立病院の取り組み状況を踏まえながら、今後の方向性について考えることを目的に開催します。

日時

平成 26 年 5 月 24 日 土

開演 13:30

閉演 16:30

場所

飯南町保健福祉センター

入場無料

## 第1部 基調講演

演題 「尾道市御調町における地域包括ケア」

講師 沖田光昭 先生（公立みつぎ総合病院 副院長）



## 第2部 パネルディスカッション

司会者 福澤陽一郎 氏（雲南保健所長）

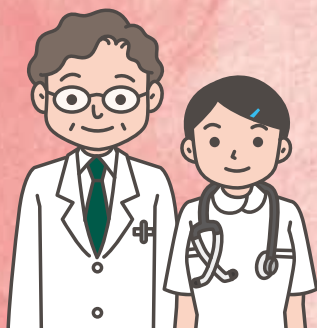
助言者 沖田光昭 先生（公立みつぎ総合病院 副院長）

発言者

大谷 順 先生（雲南市立病院 院長） —雲南市立病院からの報告—

深澤郁雄 先生（町立奥出雲病院 院長） —町立奥出雲病院からの報告—

安田 勲 先生（飯南町立飯南病院 院長） —飯南町立飯南病院からの報告—



当日は、中高生を対象とした医療従事者（看護師・理学療法士・作業療法士）に関するブースや雲南圏域で行われている地域医療に関連した活動に関する展示を行う予定です。



主催：雲南地域医療を考える会

後援：島根県雲南保健所、島根大学医学部地域医療支援学講座、一般社団法人しまね地域医療支援センター、雲南医師会、雲南市、奥出雲町、飯南町、雲南市立病院、飯南町立飯南病院、町立奥出雲病院、飯南町の医療を守り支援する会、奥出雲町地域医療確保推進協議会、がんばれ雲南病院市民の会、雲南市立病院ボランティアの会、島根県看護協会、島根県作業療法士会、島根県理学療法士会、自治労島根県本部衛生医療評議会